

# 道徳授業実践



学年

6年

内容項目

1 - (1)

物を大切に

資料名

残されたえびになみだ

学習形態

地域の学習支援者を招いての T.T

## 6 学 年 組 道 徳 学 習 指 導 案

在籍児童数 35名  
指導者

- 1 主題名 ものを大切に
- 2 資料名 「食べ残されたえびになみだ」(出典「みんなのどうとく」学研)
- 3 主題設定の理由

### (1) ねらいとする価値について

本主題は、内容項目1-(1)「生活を振り返り、節度を守り節制に心掛ける」をねらいとしている。「自分でできることは自分でやり、節度のある生活をする」という中学年の指導を発展させ、自ら節度を守ろうとする心をもった児童を育てようとする内容である。

物を大切にすることは、つまり節度ある生活をすることであり、基本的な生活習慣である。節度ある生活をするには、自己を確立していく上で大切なことである。また、自分自身のみならず周囲の人達をも大切にすることにつながる。

一方、児童を取り巻く環境は、雑誌やメデア等の甘美な刺激情報に満ち、暖衣飽食といえる。その中で、節度の大切さを理解させ、日常生活での実践にまで目を向けたいと考える。

### (2) 児童の実態について

6年生ともなると、自分の生活を振り返ることができるようになる。「もしこの村が100人の・・・」の学習では、自分たちの生活が豊かであることを知った。知識として「物を粗略に扱ってはいけない」ということを理解しているし、「大切に扱わなければいけない」ということもわかっている。しかし、一時の衝動や感情から節度のない行動をとることも少なくない。

食に関して言えば、給食では、見ためだけで判断し、残してしまう児童が少なくない。残さずしっかり食べるよう声かけをしている。調理実習でも、食材を無駄なく使うよう考えさせ、5年生の時より食材の残りは少なくなった。

日常を振り返り、豊かさから物を粗略に扱っていないか、欲望のままに行動していないかを内省し、自制することを心掛けさせたい。

### (3) 資料について

本資料は、「感謝の心を持って節制」という、暖衣飽食の中にあって関心の薄い今日的課題を、食べ物という最も関心の高いもので迫ろうとしている。主人公の「わたし」は、タイで父が養殖しているえびを食べ残している日本人の様子を見て泣いている。タイからの留学生の「わたし」が見た日本の光景を考えさせることにより、児童一人一人の日常生活を振り返り、ねらいとする価値に迫る。

導入では、5年生で学習した食料の輸入状況を提示し、資料への関心を高める。展開では、主人公「わたし」の気持ちや呼びかけに着目して、自分自身の問題として深く考えさせたい。児童一人一人に自由なとらえ方で共感させたい。また、終末では、ゲストティーチャーの話の聞き、感謝の気持ちをもち、物を大切にしていこうという思いをふくらませる。

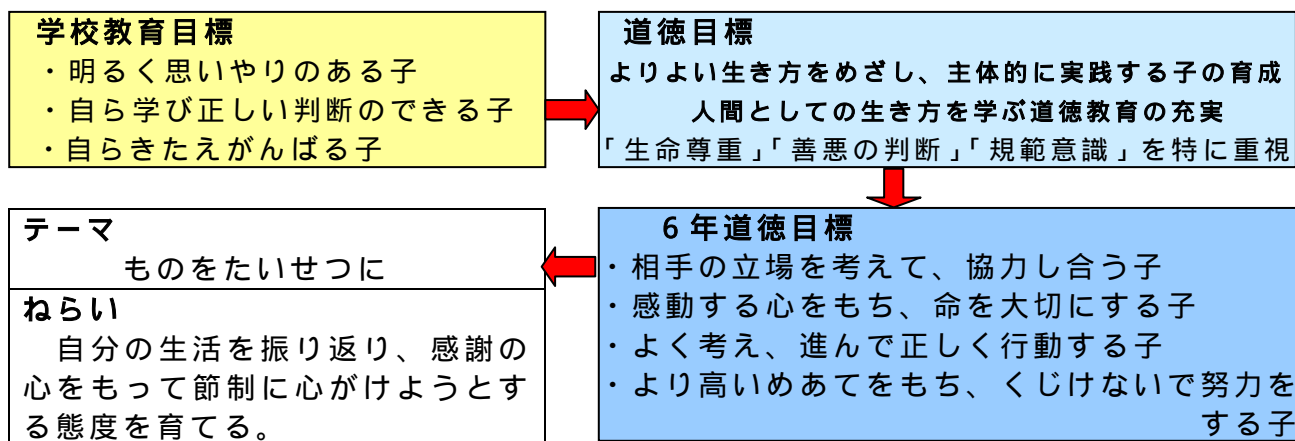
なお、資料の読解に時間を要する児童のため、事前に資料渡しをしたり、補助資料を工夫して状況をわかりやすくしたりして、わかる学習になるよう支援する。

- 4 基本方針 「基礎力を高め、心豊かに生きる力を育む教育の推進」の具現化に向けて高学年の授業では、人間としての在り方や生き方に関わって考えを深め、夢や希望を育み、よりよく生きることが勇気づけられるようにしていくことが大切と考える。そこで、資料選択では、人間としての在り方や生き方を考えさせられるもの。展開では、資料に興味をもてるよう感動的な補助資料を用意し冷静な思考力と人間愛を育む。考えることから実践への意欲を培うため、先生や地域の人材の説話や話を取り入れる。

5 指導計画及び他の教育活動との関連

6年

総合単元的な道徳学習の構想(前期)





常時活動	学習活動	児童の意識の広がりと深まり
あいさつ運動 朝の会 ・朝のスピーチ  休み時間 節水  給食指導 ・好き嫌いなく ・あいさつ いただきます ごちそうさま 係り活動 当番活動  清掃 ・用具の扱い  帰りの会 ・反省	5月 (家庭科) <b>朝食に合うおかずを作ろう</b> 朝食を考え、その材料を適切に準備すること、ゆでたりしておかずを作ることができる。	児童の意識の広がり ・バランスのよい食事は、健康上大事だ。残さず食べよう。 ・材料を大切につかおう。 ・むだにしないようきちんと計算して材料を用意しよう。
	6月 (体育科) <b>病気の予防</b> 病原体に対する抵抗力を高めることが必要であることを理解。	・食べ物と健康は、関係あるんだ。好き嫌いなく、残さず食べよう。
	6月 (家庭科) <b>生活を楽しくするものを作ろう</b> 製作計画をたて、エプロンを作ることができる。	・しっかり計画を立て布をむだにしないようにしよう。 ・がんばって作ったものだから大切に使おう。
	6月 (道徳) 1 - (1) <b>食べ残されたえびになみだ</b> 自分の生活を振り返り、感謝の心もち、節制に心がけようとする態度を育てる。	・日本人は、食べ物をむだにしているんだね。 ・食べ物を残さず食べよう。 ・世界には、飢えに苦しんでいる人がたくさんいるね。
<b>家庭との連携</b> シラバス 学校便り 学年便り 学級だより  心のノート 道徳ノート  公開授業 懇談会	9月 (国語) <b>川とノリオ</b> 戦争を体験した人々 戦争体験者から戦争の悲惨さを知り、生きていることのすばらしさを考えることができる。	・戦争でたくさんの方が死んだんだね。物も不足していた。 ・当時は、物がなく、どんなものも大切にしていたね。わたし達もみならおう。
	9月 (家庭科) <b>金銭や物の使い方を考えよう</b> 金銭や物の使い方を見直し、計画的に使うことができる。	・むだな使い方をしていたな ・使える物は再利用して、工夫して使おう。 ・再利用を考えるのは楽しね。

6 ねらい 自分の生活を振り返り、感謝の心をもって節制に心掛けようとする態度を育てる。

7 展開

展開は熊谷市「心の道標」を参考に作


段階	学習活動と主な発問	予想される児童の心の動き	指導上の留意点( )・ 評価
導 入	<p>1 食料品の輸入グラフを見る。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本は食糧生産が少ない。</li> <li>・5年生で勉強した。日本は米以外を外国に頼っている</li> </ul>	<p>5年生の社会科で学習した食料輸入のグラフを提示し、ねらいとする価値に関連して、関心を高める。</p> 
展	<p>2 資料「食べ残されたえびになみだ」の粗筋の概略と範読を聞き、感想を話し合う。</p> <p>わたし タイの留学生 わたしの父 えびの養殖</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お父さんはえびを大事に育てていたのにかわいそう。</li> <li>・飢えに苦しんでいる人が、世界に多いのに、日本人は食べ物を粗末にしている。</li> <li>・言葉の意味を考えよう。</li> </ul>	<p>場面絵で概略を説明したあと資料を読み、学習への意欲を高める。</p> <p>留学生「わたし」の気持ちを中心に話し合うことを告げ、わたしに集中して聞くように助言する。</p> <p>感想を聞きながら話題を整理する</p>
開	<p>3 資料について話し合う。</p> <p>「日本人のために、大きく育てたえびだ。おまえのはこっちだ。」と言って小さなえびを父がくれた時「わたし」はどう思ったでしょう。</p> <p>たくさんの残されたえびを見て、涙がこみ上げてきた時の「わたしの気持ちは、どんなだったでしょう。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お別れなんだ。大きいのをくれてもいいじゃないか。</li> <li>・えびが食べられる日本人とは、どんな人だろう。</li> <li>・これは、大事な売り物だ。我慢しよう。</li> <li>・父は、家族の生活のために大事に育てているんだ。</li> <li>・自分の国の人たちは食べないで我慢しているのに、もったいない。くやしい。</li> <li>・日本人で、なんて食べ物を粗末にする人たちだ。</li> <li>・えびを大事に育てている父が知ったら悲しむだろう。</li> </ul> 	<p>息子の異国への旅立ちにもかかわらず、大きなえびを食べさせないのは、父が生活をかけてえびを大切に育てている思いに気づくようにする。</p> <p>日本人のために一生懸命えびを養殖している父の姿を思い浮かべ、涙がこみ上げてくる「わたし」の気持ちに共感させる。ここでは、時間をとって話し合わせる。</p> <p>父のことを思いやる「わたし」の悲しい気持ちに共感できたか。</p> <p>捨てられていく食糧がたいへん多いこと、世界の人口の5分の1にあたる人々が飢えに苦しんでいることを知らせ、「わたし」の問いかけの意味を深く考えさせたい。</p>

		「いただきます。」「ごちそうさま。」には、どんな意味が込められているのでしょうか。また、「もの」の大切さとはどういうことなのでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見えないけれどつくってくれた人たちへの感謝の気持ちを表す。</li> <li>・限りある資源を大切にすること。</li> <li>・自分さえよければという考えではなく、感謝のきもちをもつ。</li> </ul>	感謝の気持ちを持ち、それに答えたいという思いが高まったか
	見つめる	4 自分たちの生活について考え、道徳ノートに書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嫌いなものは食べようとしなかった。</li> <li>・飽きたら捨てないで、最後まで使おう。</li> </ul>	日常生活を振り返り、食べ物に対してだけでなくものに対しても感謝の気持ちを持ち、ものを大切にしようとする思いを高める。
終末	はぐくむ	5 ゲストティーチャーの木村さんの話を聞く。 		ゲストティーチャーの話を書くことにより、ものを大切にしようという思いをふくらませ、実践意欲を高める。

## 11 支援者との打ち合わせ

電話連絡や直にお会いして、事前の打ち合わせをする。

### (1) 打ち合わせ手順

- 
- 期日に余裕をもってお願いします。
  - 期日と時刻を知らせる。(調整)
  - 学習のねらいと流れを知らせる。
  - 支援して欲しい内容を知らせる。
  - 話し合いの中から教師の予想外でねらいに合う内容を発見する。
  - 支援の場と時間を知らせる。
  - 当日の原稿を拝見し、検討する。
  - 評価をしていただく。(上記)



木村重蔵氏 地域でおそば屋さんを営む。  
熊谷麺類業組合・組合長

### (2) 打ち合わせ内容

道徳資料内容	資料との関係から支援していただく内容
えびを輸入	・そばやさんの使う材料から輸入したものを抜くとほとんど何も残らない。日本は、食糧の輸入が多い。
食べ物を粗末にする日本人 昔は食べ物を大事にした [いただきます]の意味は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作り手は一生涯懸命作る。残されると残念に思う</li> <li>・戦争時、戦後の食糧不足の体験。食料を大切にした。</li> <li>・食べられることや見えない作り手に感謝。</li> </ul>
「もの」の大切さとは？	・シンガポールでの体験 (打ち合わせ手順の ) 水の大切さ

10 評価

教師の評価、児童の評価、支援者による評価の3つから、教師自らの指導方法を反省し、改善する資料とする。

(1) 評価カード1

道 徳 評 価 カ ー ド(教師・支援者)

- 1 資料名 ( ) 月 日 ( )  
 2 学習形態 一斉 グループ 討議 その他 ( )  
 3 支援者 有り ( ) T T 導入 展開 終末  
 保護者 ( ) 地域 ( )  
 専門職 ( ) その他 ( )

教	1	児童の発言やつぶやきを大切にし、児童の思考を深めることができたか。	
	2	学習方法（発問、補助発問、掲示物等）を工夫し、児童の思考を深められたか。	
	3	学習形態（グループ指導等）を工夫し、良さを生かし、ねらいを達成することができたか。	
	4	課題意識を持ち、ねらい実現に向け、児童一人一人が自分を高めていく姿勢がみられたか。	
師	1	事前の打ち合わせは、十分にできたか。	
	2	授業者と支援者の役割は、適切であったか。	
	3	支援者の登場場面は、適切であったか。	
	4	支援者と児童は共感し合うことができたか。	
支 援 者	1	授業の中に自然に入っていましたか。	
	2	話している時の児童の反応はいかがでしたか	
	3	ねらいに沿って話せましたか。	
	4	児童の感想を見ていかがでしたか。	

(2) 評価カード2

# 道徳ふりかえりカード(児童)

名前

資料名 ( ) 月 日 ( )

感想

1	主人公の気持ちをしっかり考えることができたか。	
2	友だちの考えを聞き、自分の考えをもてたか。	
3	主人公の心を考えながら、自分とのかかわりで見つめることができたか。	
4	「心のノート」を見て、考えることができたか。	
5		

## 12 道徳ノート

児童一人一人の感動や学びや決意などを、保護者と教師が見てコメントを添えることにより、学校、家庭が児童の学びを共有し、応援する資料とする。

The image shows two examples of 'Moral Reflection Cards' (道徳ふりかえりカード) with handwritten text and drawings. Each card has a header '道徳' (Moral) and a sub-header '残されたえびになみだ' (Tears for the remaining crabs). The cards contain reflections on the story 'The Last Crab' (残されたえび). The first card has a drawing of a boy and text reflecting on the crabs' situation and the author's message. The second card has a drawing of a boy and text reflecting on the crabs' situation and the author's message. There are red stamps on the cards.

**Example 1 (Left):**

道徳  
残されたえびになみだ

自分の生活をふりかえってみよう  
これからのことも考えよう  
私はえびは好きだけれどきらいなものも残してしまします。だから、ものを大切にしていきたいです。世界にはうえて死んでしまつ子ども達もいると思うと私達は、幸せだなと思いました。これからはなんでもかんでも、そまづにあつかわないで大切にしていきたいです。

自分たちで思われた環境に感謝し、今、気持ちを大切にしていきたいです。  
今の自分たちの生活をきちんとふりかえっていますね。各自、学んだことを自分の生活の中で生かされることを願います。

**Example 2 (Right):**

道徳  
残されたえびになみだ

自分の生活をふりかえってみよう  
これからのことも考えよう  
私もうんに苦しんでいる人の事を考えずにかんたんに食べ物をむだにしてしまつことがあります。今、日本は少し幸せすぎるのではないかと思ひます。これから、これからは、大切にしたいです。感謝の気持ちで、ものを大切にしたいです。

私の子どもの頃は、食べ物に限らず何でも大切にしていました。もたない、を忘れないで下さい。

今日の学習、しっかり取り組んでいました。今日の学習が、これからの生活に生かして下さい。

13 学習支援者への感謝の手紙

地域には、素晴らしい専門知識や技術をもった人がたくさんいます。その人達が、忙しい中、時間を割き支援して下さったこと、支援により感動や発見や学びなどが得られたこと、に感謝して児童全員がお礼の手紙を書きました。写真を表紙に、冊子にしてお届けしました。

